

『風と光と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、
地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft//jouhoushibackn.html> 】

ピンチをチャンスに

富士・東部教育事務所 所長 大竹 太

例年のない暖かな年度末を過ごし、新たなスタートを切る「令和3年度」を迎えました。地域教育情報誌「風と光と」の第1号をお届けするにあたり、教育事務所の様々な取組に対する日頃からの温かなご支援とご理解に対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、昨年度は新型コロナウイルスの影響により、これまで経験したことのない状況が数多く生まれました。社会全体においては緊急事態宣言による外出の自粛等、学校現場においては、臨時休校、教育課程実施のための工夫、感染症蔓延防止のための対策等と、数え上げれば枚挙にいとまがありません。そのような中、人々の疲弊した状況が生まれてきたのも事実ではないでしょうか。

しかし、これらの対応をすることで、「今、できることは何か」「これからの時代のあり方」などについてじっくりと考え、行動に移すことができたのではないかと思います。通勤緩和のためのテレワーク、ICTを活用したリモートによる学習活動などは、そのいい例でしょう。また、このような状況だからこそ、人と人とのつながりや家族のつながり、地域のつながりがとても重要だということも、改めて感じられました。

これまで私たち教育事務所では、「子供たちの教育は地域全体で担う」として、それぞれの地域の特色を生かした取組を進めてきました。「南都留地域教育フォーラム」では、保幼小中高大学と地域の積極的な連携・交流の推進、北都留の「明日の風」では子供たちが夢や希望が持てるような体験活動を通じた地域連携を推進してきました。

昨年度は、これらの取組の一部を「書面開催」などに形式を変えたのですが、「地域連携」の重要性を考慮し、新たな形に変えることで、活動を途切らせることなく実施してきました。地域の方からは「来年度は通常の活動を……」などの意見もいただいたのですが、形を変えたことにより、新たな課題や成果が見えてきたことも事実です。今こそ、「ピンチをチャンス」に変える時だと感じました。

新しい時代を切り開いていく子供たちを育成するには、私たちが慣例重視の活動を行っていたのでは実現しません。常に成果を生かし、課題を解決する中で活動を展開していく必要があります。人と人が心を通わせ、新たな文化を生み出し、子供たちの夢や希望が実現する時代の創造のためには、ピンチをチャンスに変えることで、新しい活動や価値観を生み出していくことが重要であると考えます。



これからの時代が、「コロナ禍」の中であったとしても、学校・家庭・地域の連携をさらに深め、地域の未来を担う健全な子供たちを育成することを第一に考え、教育事務所スタッフ一同、精一杯努力して行きます。「ピンチをチャンス」に変えていきたいと思いません。これからも、一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

地域教育支援では、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域に於ける体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

以上のことを目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

《南・北都留地域教育推進連絡協議会の主な地域教育関連事業》

〔南都留関係〕

◎主催事業

- 【地域教育推進連絡協議会理事会・総会・教育講演会】 6月16日(水) 勝山ふれあいセンター
教育講演会：「ふるさとの未来と地域教育～地域活性のために今できること～」
都留文科大学 教養学部 地域社会学科 准教授 鈴木 健大(すずき たけひろ) 氏
- 【南北都留教育相談ネットワーク会議】 ①7月7日(水) ②12月1日(水) ③2月2日(水)
- 【第24回南都留地域教育フォーラム】
10月29日(金) 下吉田第二小学校(主会場)
アトラクションおよび全体会の後、分科会に分かれて現在子どもたちが抱えている様々な課題にスポットを当て、地域連携の中での解決の方向を探っていきます。
- 【都留地区生徒の健全育成を目指す中・高連携連絡会議】
①5月25日(火) ②11～12月中予定(後日調整)

◎共催事業

- 【富士吉田地区小中高連携連絡会議】 ① 4月～5月実施予定 ③ 2月18日(金)
② 11月2日(火)ふるさと発見ワークショップ
- 【富士吉田地区小中高連携連絡養護教員部会】 ① 6月7日(月) ② 3月15日(火)
- 【親子カルチャー教室】 7月22日(木) 富士北稜高等学校
- 【親子ものづくり教室】 8月9日(月) 都留興譲館高等学校
- 【南都留特別支援教育研究会】
① 5月20日(木) ② 6月29日(火) ③ 8月31日(火)
④ 2月15日(火)



〔北都留関係〕

◎主催事業

- 【一人一花運動】 花の種(ひまわり・百日草・マリーゴールド等)の配付：4月中旬
フォトライブラリー展：11月8日(月)～12月10日(金) 北都留教育会館
- 【地域教育推進連絡協議会定期総会・教育講演会】 7月2日(金) 13:30～ 上野原文化ホール
人権に関する講演：「幸せのかたち～ひとりひとりが輝く未来への希望～」
LGBT 啓発活動講師 大久保 暁(おおくほ あきら) 氏
活動事例発表：大月短期大学学生による「桃太郎ガイド」の実演(佐藤茂幸ゼミ)を予定
- 【アスリート実技講習会】
① 5月8日(土) ② 6月20日(日)
③ 9月25日(土) ④ 11月6日(土)
⑤ 2月19日(土) ⑥ 3月5日(土)
- 【小林雅英野球教室】
11月27日(土)(予定) 県立都留高等学校



◎共催事業

- 【伊藤知治教士八段剣道教室】
10月23日(土)(予定) 大月短期大学 体育館
- 【帝京科学の夏まつり】
7月25日(日)(予定) 帝京科学大学
- 【チャレンジ!上高アニメーション】
8月3日(火)(ゲーム形式の読書会)上野原高校



チャレンジ!
上高アニメーション

◎協力事業

- 【シオジ森の学校】
 - ①オープンキャンパス:4月17日(土)・18日(日)
…15周年記念シンポジウム(18日)
 - ②講座1:5月22日(土)探鳥会
 - ③講座2:6月5日(土)間伐作業
 - ④講座3:7月31日(土)夏のトレッキング
 - ⑤講座4:10月30日(土)秋のトレッキング
 - その他:木工教室、子供向けネイチャーゲーム、シニア向けイベント



シオジ森の学校
さまざまな活動

《社会教育関連事業》

- ◎【南都留地区社会教育担当者会】(年間6回)
南都留地区の社会教育(生涯学習)担当者の情報交換・意思疎通および研修を実施します。
- ◎【南都留地区ジュニアリーダー合同キャンプ】
8月3日(火)・4日(水) 国立中央青少年交流の家
- ◎【南都留地区社教委連 定期総会及び春季研修会】
5月20日(木)
- ◎【北都留地区社会教育業務説明会議】
市町村社会教育担当者と、教育事務所との連携を図ります。
 - ①4月14日(水):大月会場(北都留教育会館)
 - ②11月16日(火):小菅会場
- ◎【放課後子どもプラン推進事業「放課後子ども教室」】
 - 南都留地区:富士吉田市・都留市・富士河口湖町・西桂町
鳴沢村・忍野村・山中湖村
 - 北都留地区:大月市・上野原市・小菅村・丹波山村
- 【山梨ことぶき勸学院】
新1年生(35期生)南都留教室 13名、北都留教室 25名
新2年生(34期生)南都留教室 10名、北都留教室 10名
- 【フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」】
~~8月1日(日)~8月8日(日)~~ **今年度も中止が決定しました!**



野口健さんとともに



ことぶき勸学院

【カラー版は、富士・東部教育事務所のHPからご覧いただけます。

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/jouhoushibackn.html>】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めてまいります。各事業について御意見御要望がありましたら、地域教育支援スタッフまで御連絡ください。また、地域連携の活動の情報がありましたらお知らせください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841



南都留教室代表

ことぶき勸学院 卒業式・入学式



北都留教室代表

コロナ禍の下、3月11日(木)にYCC 県民文化ホールでことぶき勸学院第33期生24人(南都留11名、北都留13名)の卒業式が行われました。パラリンピック走り高跳び代表 鈴木徹氏の「大人の夢の実現へ～人は進化し続ける～」の講演の後、卒業式では来賓の長崎知事に祝辞をいただきました。南都留教室の堀内 満氏が、卒業生を代表してあいさつを述べました。また、1年生20名も全員修了し、2年生に進級しました。

4月13日(火)には、第35期の新1年生40人(南都留15名、北都留25名)が入学式を行いました。



入学式誓いの言葉

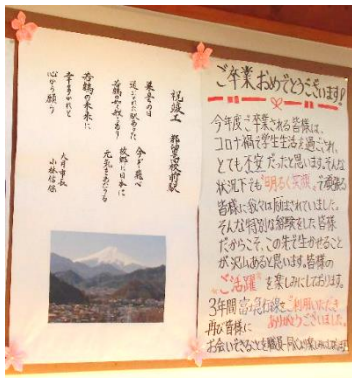
新入生を代表して南都留教室の長田美紀子氏が誓いのことばを述べました。

南都留教室(担当:桑原利克)は、1・2年生ともに南都留合同庁舎、北都留教室(担当:福嶋尚美)は、1年生が大月市総合福祉センター、2年生が上野原文化ホールを中心に活動を行っていきます。



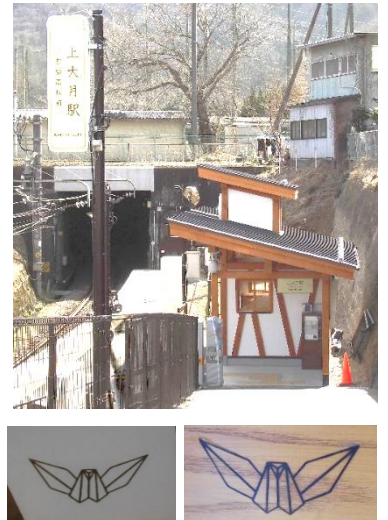
入学式

駅舎リニューアル上大月駅(都留高校前駅)



2月27日(土)に富士急行線上大月(都留高校前)駅の駅舎がリニューアルされ、富士急行社長、大月市長、都留高校長および生徒らによってテープカット式が行われました。

富士急行と都留高校の生徒の共同企画「都留高校前駅デザインプロジェクト」の一環として、生徒のデザインを受けたものになっています。ドアや椅子には校章をあしらった「若鶴」がデザインされています。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



シオジ森の学校 15周年記念事業



10000個のつみき遊び

4月17日(土)に「シオジ森の学校 オープンキャンパス」が大月市民会館において開催され、多くの親子が参加しました。間伐材を利用した「つみ木遊び」が行われ、木のぬくもりや森の大切さを親子で実感しながら、楽しい一時を過ごしました。



シンポジウム

翌18日(日)には「シオジの森のこれまでそしてこれから」をテーマにシンポジウムが行われ、15年の間に変化してきたシオジの森と今後どのように関わっていくかについて様々な観点から意見が交わされました。

※本紙3ページの講座日程を参考に!詳しくは誠実堂(0554-22-2775)まで!

お知らせ

【募集】学校を通じて募集します!

◎7月22日(木)AM 富士北稜高校 親子カルチャー教室

南都留地区(除く:都留・西桂・道志)の4~6年生の児童・保護者

◎8月9日(月)AM 都留興隆館高校 親子ものづくり教室

都留市・西桂町・道志村の4~6年生の児童・保護者

◎8月3日(火)AM 上野原高校 チャレンジ!上高アニメシオン

北都留地区の中学生

☆夏休みの工作のヒントや高校での学びを体験する機会になります。

開地保育園 保育と自然体験活動研修



開地保育園（亀澤正隆園長）の森の整備委員会では、3月11日（木）に「宝の山ふれあいの里」において、「保育と自然体験活動を考える研修」を行いました。

開地保育園では、6年前に森の整備委員会を立ち上げ週に1回「保育とくらし」をテーマに「自然の中で日常得られない発見・経験をする。自然の中で発達を促進する。」を保育目標として、探検・探索・自由あそび活動を行っています。当日は、午前中に子どもたちの活動を見学し、午後には、宝の山ふれあいの里の佐藤洋学芸員、県自然保育導入推進アドバイザーの亀澤園長らと研修会に参加した県内の園長や保育士、教育関係者がディスカッションを行い、「自然保育」への考えを深めました。



ふたば保育園 卒園式・閉園式



令和3年3月13日（土）に、ふたば保育園（小俣加代子園長）の卒園式と閉園式が行われました。ふたば保育園は、昭和28年に開園し、今年で68年になります。平成18年からは大月社会福祉協議会の運営のもと、多くの卒園者が学び舎を巣立ちました。

当日は、大月市長、葛野区長が臨席しての閉園式となりました。卒園児の代表が、大月市社会福祉協議会に「かぎの返還」を行い、最後に全員で園庭に集まり、「さよならふたば保育園」を合図に風船を空に飛ばしました。



小俣園長は、「地域の方たちに支えられ、見守られて、子どもたちは元気に過ごすことができました。ここを卒園し、その子どもや孫が再び入園してくれました。園で古くから続く行事を親子で支えてくれています。子どもたちも私たち職員も地域の方々にとっても助けられました。」と30年の保育園での思い出を語ってくれました。保育園を愛し、支えてくれた地域の方々に感謝しながら、その歴史に幕を下ろしました。



富士吉田市立図書館 × 富士北稜高校美術部 THE 似顔絵

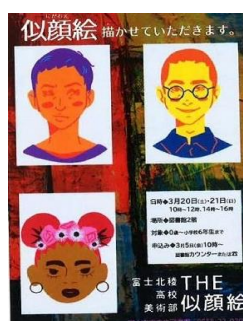


富士吉田市立図書館で、とにかく高校生を応援しちゃおうという「高校生応援プロジェクト」が始動しました。今回は、富士北稜高校の美術部（銭谷恭子顧問・幡野裕講師）を全力で応援しました。

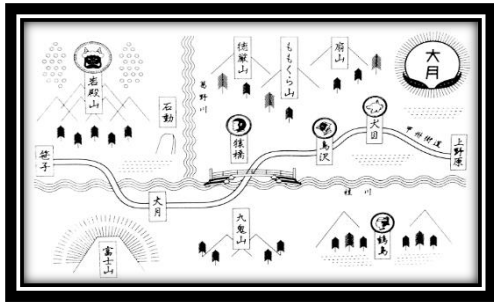
3月2～30日に美術部展「高校生の今」の企画を行い、16～28日の間は、コラボ企画「フィギアを探せ！」を実施しました。また、3月20・21日には、「似顔絵描かせていただきます（THE 似顔絵）」イベントが開かれました。

山崎美結部長は、「現在、部員は13名。絵が好きな部員ばかり。この日のために練習を重ね、それぞれのタッチで楽しんでいます。」と語っています。来館した子どもたちの特徴をとらえた似顔絵を短時間で制作し、自作のしおりとともにプレゼントしていました。

小佐野みはる課長補佐は、「コロナ禍で高校の文化部も活動の自粛を求められています。少しでも活動の場を提供し、高校生にエールを贈りたい。」と語っていました。



大月 ももたろうプロジェクト (vol. 1)



「桃太郎」と聞くと「岡山」と思うかもしれませんが、岡山桃太郎が全国的に広まったのは、岡山国体（昭和37年）からと言われています。山梨にも古くから「ももたろう伝説」があるのをご存じですか？

昔、岩殿山に赤鬼が住んでいました。この赤鬼は、九鬼山の9匹の青鬼と一緒に住んでいましたが、とても乱暴者だったので九鬼山から追い出されてしまい、里の人々を苦しめていました。一方、岩殿山の東側には桃倉山（百蔵山）があり、たくさんの桃の木が生えていました。

ある日、たわわに実った桃の実の、中でも特別に大きな実がポトリと川（桂川）に落ち、下流の鶴島（上野原市）に住むおじいさんとおばあさんに拾われました。・・・その後のお話は有名ですね！

犬目（上野原市）で犬を、鳥沢で鳥を、猿橋で猿を家来にしました。

「観光ガイドマップ おおつき」（大月桃太郎伝説）参照

※背景に富士山：岡山に???



浮世絵「御新 桃太郎」菱川春宣
明治23(1890)年3月の作品



桃太郎サミット 10月16日に決定！

桃太郎の伝説が残る全国の自治体が大月市に集まる「桃太郎サミット 2021 in 大月」は、令和3年10月16日(土)に大月短期大学を主会場に開催されます。サミットは、昨年10月に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のために延期されました。関連イベントは夏以降に計画されています。



そもそも、大月市には古くから「鬼」に関する伝説が数多く残っています。また、岡山県以外にも日本の各地に「桃太郎伝説」があり、地域の文化として誇りとしています。「大月桃太郎連絡会議」（天野太文 会長）では、7年前より「桃太郎で街おこし」を唱え、2016年10月には「第14回桃太郎サミット」（日本桃太郎連合会・日本桃太郎の会）を主管しました。



今回は、大月市観光協会が最近、大月市郷土資料館協力のもとに作成した「大月桃太郎伝説の里めぐり」MAPをご紹介します。「里めぐり」は伝説にまつわる名所や日跡の解説、お土産の紹介など桃太郎伝説ゆかりの地を歩いてめぐる楽しいコースマップとなっています。大月市観光協会では今までも「大月桃太郎ウォーキングツアー」を行ってきました。今後も開催を計画しており、MAPは大月駅前の観光案内所で無料配布されています。是非足を運んでみてはいかがでしょうか？



※詳しくは、大月観光協会(0554-22-2942)お問い合わせください！

大学入試を知ろう！

現在の中学校3年生が高校3年生時に受検する2025年の大学入試共通テストから「情報」が新しく出題されます。また、今年の1月に新しく始まった大学入試共通テストも2022年度からの高校の新学習指導要領に伴い、6教科30科目が7教科21科目に再編されます。

既に2020年4月から小学校でプログラミング教育が必修になっていますが、来春高校に入学する生徒（現中学3年生）は、法制度、情報モラル、プログラミングやデータ分析などを学ぶ「情報I」を必ず履修する必要があります。まさにデジタル(Society5.0)社会の一翼を担う世代といえるでしょう。

今後も「キャリア教育」の一環として、小・中学校の段階から知っておいてほしい今後の教育情報を取り上げていきます。